

市指定

しょうけんじかみやうたせきひ  
松見寺神谷転石碑

■ 所在地：三黒417

■ 管理者：御鉾神社



高さ130cm、幅110cmの不整形の石碑で、天保7年（1836）に建立されています。

江戸時代のお家騒動のひとつである、仙石騒動せんごくそうどうに深く関わった神谷転が、三黒に鎮座していたといわれる吾妻神社に精忠の志を表す文が刻まれています。

神谷転は江戸時代後期、但馬国出石藩いずしはんの御家騒動「仙石騒動」で追われる身となり、その身を隠すために下総小金一月寺（松戸市）の虚無僧となりました。

神谷転は、天保6年（1835）松見寺（袖ヶ浦市）の看守となりますが、この顛末を知った僧が、寺社奉行に訴えたことから幕府の知るところとなり、騒動に加担したものとして処罰を受けることとなりました。このような歴史的な事件や人物と、袖ヶ浦市の関係を示す貴重な文化財です。